

家庭教育の充実

大垣市立江並中学校

『ひとりだち』とは

- 精神的・経済的に自立すること
- 社会に貢献すること

＜家庭で大切にしていっていただきたいこと＞

- ①早寝・早起き・朝ごはん
・基本的な生活習慣の確立
- ②挨拶・お手伝い
・家族の一員としての自覚・責任
- ③だめなことはだめ・ごめんなさい
・社会の一員としての自覚・責任
- ④目標・努力
・目標の自己決定、自己努力、自己肯定感
- ⑤ゲーム・テレビは2 時間以内
・やるべきことに取り組む、依存防止

保護者の姿こそ最良のお手本。

学校と家庭が手を取り合ってお子さんへの支援を。

【参考】

＜ノーベル経済学賞 シカゴ大学 ジェームズ・ヘックマン＞

◎教育への投資は年齢が低いほど効果があり、幼児教育はその後の人生を変える。

◎伸ばすべき能力は、非認知的能力である。

- ・自己に関わる心の力：自制心、忍耐力、やる気、自尊心など
- ・社会性の力：集団に溶け込み、人とうまくやる力、協調性など

※ペリー就学前プログラム調査（1962～1967年、ミシガン州での幼児教育の比較調査。追跡調査は40歳まで実施。）

- ・IQを高める効果は小さい。当初はIQが高くなったが、4年経つと効果は消えた。
- ・非認知的能力を高める効果は大きい。非認知能力を身に付けると、その後の学習をより効率的にする。
- ・14歳の時点で、就学率も成績もよく、社会行動についてもよい影響がみられた。
- ・40歳の時点で、学歴、収入、持ち家率等が高く、経済的・社会的に安定している割合が顕著に高い。